

【集団指導】継続授業のご案内（小6・中学生・高校生）

【小6 集団授業コース】

青高・東高を目指すコース 小6冬から総まとめ！

小学生コース

開設会場：青森本部

週1回から選べる！

- 1. 学校の先取りで、理解度を上げる！
- 2. 演習も取り入れ、その場で復習 完全理解！

【中学生 集団授業 2コース】

青森高校を目指す選抜コース



「質の高い授業」と「志望校合格のため集まつたライバル」の中で、
トップ高合格を目指す

入会基準：試験選抜制／通知表5教科合計21以上 開設会場：青森本部

少人数で上位高を目指すコース

マスターコース

- 1. 進度も定期試験対策も各中学校に準拠
- 2. 上位高合格にターゲットを絞った授業！
- 3. 質問しやすい！先生との距離が近い！

入会基準：通知表5教科合計15以上 開設会場：青森本部

【高校生 集団授業コース】

集団指導は進学会だけ！現役合格を目指します

①1科目（数学または英語）から受講できます。科目が選べます！

②学校からの直行OK。自習室は週何回来ても大丈夫です！

開設会場：青森本部

2025年【集団指導】時間割 東北大進学会

SHIN
GAKU
KAI

1月15日以降の時間割です。科目を含め変更になる場合がございます。

■調整が必要な方はお申し出下さい。会場を超えた通塾も可能です。

■【★】は開講準備中となります。基準の人数等もありますが、開設に向け最大限努力して参ります。個別指導やオンライン授業もあります。お気軽にお問い合わせください。

<受講基準（集団指導）> 【マスター】通知表5教科合計15以上

【エクセル】通知表5教科合計21かつ選抜試験合格者

	会場	学年	コース	月	火	水	木	金	土
集団指導	青森本部	小6	★小学	17:00-18:20 国語		17:00-18:20 算数	17:00-18:20 理科・社会		
		中1	マスター	19:50-21:10 英語・国語		19:50-21:10 数学			
		中2	マスター	19:40-21:10 英語・国語			19:40-21:10 理科・社会		19:40-21:10 数学
		中3	マスター	19:10-21:10 理科・社会		19:10-21:10 数学			19:10-21:10 英語・国語
			エクセル		18:50-21:10 英語・国語		18:50-21:10 数学		18:50-21:10 理科・社会
		高1	大学受験			19:00-21:10 英語			19:00-21:10 数学
		高2	大学受験	19:00-21:10 数学					19:00-21:10 英語

東北大進学会の継続授業<新規入会好評受付中>

東北大進学会は1つのクラスの人数を8名前後としています。これは授業内で全ての生徒さんに目が届くようにするためです。生徒全員の理解のため、最適な環境で授業を行います。また、

進学会の授業は、生徒に発問しながら進める対話式授業です。一方的な授業じゃないから、授業についていけないということはないよ！先生も生徒も教えた内容がちゃんと理解できているか確認しながら進めていくから安心です！

他塾と一線
を画す特色

授業中は静か 実績・信頼が違う
テキストは目的別に自社作成 小学生から通う生徒は ほとんど青高へ
面白い 試験対策の徹底度合 質問しやすい 鍛える

私語は厳しく指導します。授業中騒がしければ塾じゃない!!

進学会の指導システム フィードバックシステム

～フィードバックシステムで、学習の悩みを改善しませんか？～

- ①「部活で疲れた」と言って、家で勉強しない… テスト前しか勉強しない…
- ②「復習しない」と言っても、「覚えた」「もう見たから大丈夫」と言って繰り返しやらない…
- ③「勉強が面白くない」と言って、やる気がない… 熱心に指導してくれる先生がいない…

生徒の予習と講師の予習調べ

進学会の授業は『予習調べ』からはじまります。予習を通して、「できる」と「できない」を明確にし、毎回の授業に目的意識を持つてもらいます。指導する我々も予習状況から、どこを重点的に指導すべきかを判断して授業を行います。『予習』が学習効果を上げる秘訣です。



家庭学習
習慣が定着

予習調べの様子

進学会の授業

予習調べをしているので、各自の弱点に合わせて効果的に授業をします。『発問』が多く適度な緊張感とわかりやすく楽しい授業が魅力です。使うテキストは進学会のオリジナルテキストです。学校の教科書に対応した教材を目的別・レベル別に作成しています。生徒を知る講師陣が執筆を行うことで、限られた指導時間の中で、効果的に必要な学習事項が習得される『最高の教材』を生み出しています。



テキストは
完全消化！

復習＆S-PLAS

「復習が大事」と言われることは多いと思いますが、進学会では効果的な『復習プログラム』をご用意しております。（単に、家庭学習用教材で復習させるわけではありません）

S-PLASは、授業で扱った内容を復習する専用プリントです。（Aプリント）

解いたプリントを提出し、翌週に不正解だった問題の類題プリントをお渡ししています。（Bプリント）

さらに、定期試験前には試験範囲の該当箇所を指定し、間違えた問題をまとめて再出力することができます。

復習も含めた指導まで行うのが当会の強さの秘訣です！

弱点箇所の
集中特訓

Aプリント

全問正解

Bプリント

一人ひとりの名前入り!!

不正解

類題

不正解

類題

類題

できなかった問題の類題を
繰り返し練習できます！

フィードバックテスト

定着度の確認

【5教科+計算英単語】×【年間12回】=合計72回の到達度確認テストを通常授業時に実施します。
72回すべてのテストにおいて、平均点・全国順位だけでなく、偏差値まで出します。全国展開の総合学習塾だからこそできる統計処理が進学会にはあります。

学校の授業

理解度倍増

進学会は学校の『先取り』を行うので、学校は復習の場となります。
学習効率も良く、知っている内容だから、積極的に発表できるので、「内申点」も期待できます。

試験対策“専用”授業

定期試験2週間前から『試験対策授業』がスタート！
各中学の定期試験問題の「回収・分析」をしています。
単に試験範囲の授業をするのではなく、「頻出問題や差が付く問題」をテキストの試験対策問題を通じて、指導しています。

徹底分析に基づく定期試験対策



講師の過去問分析の様子

全国一斉模試

入試レベルの出題で判定

全国一斉模試（合格判定テスト・学力コンクール）は中3で全8回、小4～中2では全7回あります。全国一斉模試は全国で同日に開催され、志望高の合格可能性を精密に判定します。

試験範囲は今までに学習した全範囲が出るので、定期試験だけではわからない『真の学力』がわかります。さらに、テスト終了後はできなかつた問題の解き直しをしてもらいます。進学会は、「弱点」に焦点を当てて、徹底的に反復させるシステムを持っています。



講習会

熱い授業で君を迎える！

春・夏・冬の講習会は復習が中心です。講習会の始めには、「弱点診断テスト」があり、「弱点」を把握した上で、講習会に臨めるようになっています。

「できない」を「できる」に変える。言葉では簡単そうに聞こえますが、お子様ひとりでは難しいことです。

進学会にはそれができる『システム』があります。



授業風景（社会）

黒板の板書（理科）

質の高い目的に合ったテキストで
楽しく徹底度を上げられるかが勝負！

授業内容を完全に理解する! 入試対策・実テ対策・定期試験対策

復習プリントシステム エス-プラス



Shingakukai Print Learning Assist System

S+PLAS		各科目の授業日に、定期を守って提出しましょう	提出期限	／ ()	E22-A37
A	中2英語 Attack Print	形容詞 / 副詞	会場 クラス	席	氏名
① 次の各問に答えてなさい。 (1) () に適語を入れて、AとB・CとDと同じ関係にしなさい。					
A B C D ① old new big () ② hot cold easy () ③ hot warm cold ()					
② 日本語に合うように () に適語を答えてなさい。 ④ この映画はわくわくしました。 This movie was (). ⑤ ユミはとても背が高いです。 Yumi is () ().					
③ 次の各問にしたがって書きかえなさい。 ① My brother has many coins. (下線部を money に変えて) My brother has () money. ② You have some notebooks. (疑問文に) Do you have () ()? ③ That house is old. (同じ内容を表すように) That is () () house. ④ You are a good basketball player. (同じ内容を表すように) You play basketball (). ⑤ I don't have any DVDs. (同じ内容を表すように) I have () DVDS.					
③ 次の各問に答えてなさい。 ① 日本語に合うように並べ替え、記号で答えてなさい。 ④ 私たちは何か冷たい飲み物をください。 Please (ア un イ something ウ cold エ to drink オ give). ② 彼はいつもバスで学校へ行きます。 He (ア goes イ to ウ by bike エ always オ school). ③ 次の日本語を英語に直しなさい。 ④ 私の兄はときどき公園を走ります。 ⑤ 彼らは今朝早く起きました。					
(1) (2) (3) (4)					

Aプリ Attack 復習プリント→家で
Print 解いて次回提出!!

間違えた…

Aプリは塾で採点→結果を復習システム「S-PLAS」に登録→Bプリを出力します

Bプリ

一人ひとりの間違えた問題の類題を集めた名前入りのプリントで弱点を重点的に克服!!

予習→授業→復習→テストのサイクルで成績を上げるフィードバックシステムをさらに強化する画期的な学習システム

S+PLAS		Attack Print であわせが間違えた問題の類題を集めた名前入りプリントです	提出期限	／ ()	E22-B37
B	中2英語 Brush-up Print	形容詞 / 副詞	会場 クラス	中2C E	提出した日 月 日
① () 内の指示にしたがって書きかえなさい。 ① We have many lakes in Japan. (下線部を rain に変えて) We have () rain in Japan. ② Ken has some bags. (疑問文に) Does Ken have ()? ③ This is an interesting story . () This story () ④ They swim well. They are () ⑤ I have no bikes. I () have ()					
② 次の各問に答えてなさい。 ① 日本語に合うように並べ替え、記号で答えてなさい。 ④ 何か温かい食べ物はいかがですか。 Would you (ア like イ to ウ eat エ hot オ something)? ② 彼女は今歩いて学校へ行きます。 (ア walks イ usually ウ she エ to オ school). ③ 次の日本語を英語に直しなさい。 ④ トムはいつも私に親切でした。 ⑤ 私たちは冬によく北海道を訪れます。					
(1) (2) (3) (4)					

一人ひとりの名前入り!!

当会では[予習→授業→復習→テスト]のサイクルで成績を上げる「フィードバックシステム」をさらに強化する画期的な学習システムとして、復習システム「S-PLAS」を導入しました。これにより、多くの皆さまからの「復習をより強化してほしい」というご要望にお応えすることができるものと確信しております。

新学習指導要領に対応した教材、あるいは、上位高校合格に向けたテキスト・テストの改定、定期試験の点数アップにつながる指導の強化など、より品質の向上、成績向上、最終的には学習塾の使命である、お子様の志望校合格につながる指導を強化していく考えです。今後とも、お子様の成績向上・志望校合格に向けて、ご協力をお願いいたします。

引き続き、生徒皆様の学力向上・第一志望校合格をしっかりとサポートしてまいります。

S-PLASの効果

1

家庭で学習内容を復習できる プリントを宿題として配付

塾の授業を受けて、解き方が分かったつもりになっていても、実際に似たような問題を解いてみると解けない」というケースは少なくありません。なぜなら、人間は復習をしないと、学習した内容の大半を忘れてしまうからです。学習内容を定着させるためには、早いうちに復習をする必要があります。大事なことは分かっていても、なかなか実行できないのが復習です。

S-PLASの効果

2

間違った問題だけを 類題で徹底演習

「アタックプリント(Aプリ)」を次の授業時に提出すると、塾で採点し、その結果を「復習プリントシステムS-PLAS」に登録します。「できた問題」「できなった問題」が明確になるだけでなく、コンピューターが素早く間違った問題を分析し、S-PLASシステムに登録された多くの類題の中から、間違った問題を完璧に解けるための「ブラッシュアッププリント(Bプリ)」を出力します。このプリントは、自分が間違った問題に対応した類題だけを集めた、一人ひとりに対応した「自分専用の復習プリント」です。このプリントを完璧に解けるようになれば、授業の内容も「完全」に「理解」でき、かつ、問題を「完全」に「解くこと」ができるようになります。自分だけでは解けなかった問題は、どんどん担当の先生に質問してください。そうすれば、皆さんの成績は短期間のうちに一気に上がるはずです。

S-PLASの効果

3

実テ・定期試験の前に 効率よく復習

「アタックプリント(Aプリ)」の結果は、S-PLASシステムに登録され続けます。したがって、学力コンクールや合格判定テスト、中学受験模擬テスト前に試験範囲となっている単元の中の間違った問題を再出力すれば、効率よく、かつ計画的に試験勉強ができます。もちろん、学校の定期試験前にも、定期試験対策の一環として試験範囲の単元の中の間違った問題を再出力することも可能です。定期試験前に自分の間違った問題を解きなおせば、同じ間違いを定期試験当日にすることはなくなります。